



平成 30 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所
代表者名 代表取締役社長 田村 直樹
(コード番号 6768 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 0 3 - 3 9 7 8 - 2 0 3 1

車載用電子部品の国内外工場増設による生産能力増強に関するお知らせ

当社グループは、ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの将来に向けたグローバルな需要拡大に対応するため、国内外工場における「環境車向け昇圧リアクタ」の生産能力を増強する方針を決定いたしました。国内 2 工場の生産能力を拡大し、海外では初めてとなる量産工場を設置することにより、現在年間 200 万台の生産キャパシティを拡大し、2022 年以降には約 3 倍となる年間 550 万台の生産を可能とする体制を構築いたします。

記

1. 工場増設の理由

当社グループは第 11 次中期経営計画（2016～2018 年度）「Biltrite Tamura GROWING」において、「環境車向け昇圧リアクタ」の拡大を、重要成長戦略の 1 つとして掲げております。ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの将来に向けた需要増加に対応するべく、本年、宮城県に所在する株式会社若柳タムラ製作所に車載用電子部品の新工場を建設いたしました。今般それを越える需要がグローバルに見込まれております。

つきましては、国内では当社坂戸事業所および株式会社若柳タムラ製作所の工場設備を増設し、生産能力をそれぞれ 3 倍・2 倍に拡大すると共に、両工場ともにコア材から巻線までのリアクタの一貫生産で、お客様のニーズにあわせたオンリーワンの製品の提供を目指します。

海外では車載用電子部品の主要ユーザーが事業を展開する中国・華南地区において、密接かつ迅速に顧客のニーズに対応することを目的に、当社グループでは初めてとなる「環境車向け昇圧リアクタ」の海外量産工場を田村電子（惠州）有限公司に設置いたします。当工場でもキーププロセスとなるコアの粉体工程を内製化し、リアクタ組立までの一貫生産体制を構築いたします。

なお、田村電子（惠州）有限公司は、現在の場所から移転し、「環境車向け昇圧リアクタ」以外の設備も含めて、工場の建て替えおよび設備投資を実施いたします。

2. 工場増設の概要（予定）

当社 坂戸事業所

(1) 所 在 地	埼玉県坂戸市
(2) 延 床 面 積	3,000 m ² (建物増設部分)
(3) 総 投 資 額	約 22 億円 (建物・生産設備)
(4) 生 産 能 力	年間 50 万台から 150 万台に拡大
(5) 稼 働 予 定	2020 年

株式会社若柳タムラ製作所

(1) 所在地	宮城県栗原市
(2) 延床面積	6,200 m ² (車載以外も含む既存工場総床面積、建物増設は行わない)
(3) 総投資額	約9億円(生産設備)
(4) 生産能力	年間50万台から100万台に拡大
(5) 稼働予定	2020年

田村電子(惠州)有限公司

(1) 所在地	中華人民共和国広東省惠州市
(2) 延床面積	5,000 m ² (車載工場総床面積)
(3) 総投資額	約17億円(土地・建物・生産設備)
(4) 生産能力	年間200万台生産体制まで稼働後に順次拡大
(5) 稼働予定	2022年

備考: 国内では上記拠点のほかに年間100万台の生産があり、現在年間200万台の生産キャパシティを有しております。

3. 今後の見通し

業績に与える影響につきましては、明らかになった段階で別途開示いたしますが、新工場の稼働は平成32年(2020年)以降を予定しており、平成31年3月期の業績に与える影響は軽微であります。

以上